

# 言語教育による表現力・読解力育成事業 令和2年度 充当額 5,760,400円

沼津市では、「読解の時間」と「英語の時間」からなる「言語科」の授業を実施しています。  
これからの変化の激しい社会を生き抜くために、自ら課題を見付け、解決するための道筋を考え、周りの人  
たちと協働しより良い答えを見付け出していく力を養っています。



「読解の時間」では、「言葉を用いて積極的に人と関わっていこうとする態度の育成」のため、沼津市独自の言語科副読本を作成し市内小中学校に配布し授業で活用しています。  
副読本の活用により、子供達が課題を発見し、人と関わり合いながら解決に向かっていく姿を大切にするなど、思考力、判断力、表現力、発信力を高め、実社会で必要な力を養うことができました。  
また、「英語の時間」では、ALTを各学校に配置し、英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験し、ALTとの関わり合いや、ALTの文化的背景から多様性を受容することを学ぶなど、実践的なコミュニケーション能力を高めることができました。



## ■担当からひと言

言語科の授業を通して、「疑問に思ったことや見つけた課題を自分で追究したい。」  
「英語でコミュニケーションをとることは楽しい。」という気持ちが強くなっていることが  
子供たちのアンケートからも伺えます。  
沼津市の子供たちのために寄附していただき、本当にありがとうございました。